

第1回かわさきリノベーションまちづくり検討会 開催概要

川崎駅東口周辺を中心に、空家などの遊休化した不動産や、潜在的な地域資源を活用して課題解決を図る「リノベーションまちづくり」の検討会が始まりました！

第1回検討会

日時：平成28年12月19日（月）
18時00分～21時00分

場所：かわさき老人福祉・
地域交流センター 2階ホール

メインテーマ：不動産オーナーと家守が
一緒に進めるまちづくり

テーマに合ったゲストをお呼びして、自身の取組をプレゼンテーションいただき、その後、メインテーマに合わせた意見交換を行いました。



まず、川崎市から、川崎の現状と課題として、少子高齢化やまちの状況、川崎駅東口周辺の課題や路線価の状況などを説明しました。

次に、(株)リノベリングの嶋田洋平氏から、「不動産オーナーと家守と一緒に進めるまちづくり」をテーマに、北九州市などの取組事例を紹介するとともに、リノベーションまちづくりとは、今あるものを活用し、補助金に頼らず、江戸時代の「家守」の発想で、民間の力で、従来からある要望型・陳情型のものではなく、自分たちのまちを作っていく取組であると説明がありました。



その後、委員及び参加者の意見交換を行いました。

- ・日進町で何かやりたい。シェアオフィスをやろうとしている。
- ・魅力あふれる生田緑地をうまく活用したい。
- ・多摩川は空間資源として素晴らしい。事件などもあって、暗いイメージもあるが、重要な資源。
- ・福祉と絡めたものづくりがやれるとよい。
- ・Amazonもあり、モノを右から左に流すのではやっていけない。ハンドメイドのモノを売れるとよいが、事業成立が難しい。
- ・主婦の力はまだまだ発揮できる。
- ・学生がまちづくりに参加できるような仕組みを作りたい。
- ・外国人が来て、魅力に思うまちにしたい。浅草より川崎大師のほうが良いと言っていた外国人もいる。羽田空港との距離もちかい川崎で、まず一泊目は川崎、となるような仕掛けをしたい。
- ・武蔵小杉は子どもの遊び場が少ない。子どもの遊び場は大切。
- ・川崎区は東海道という資源がある。
- ・こういう機会につながれて、何か新しい仲間を作れるとよい。東また、地元商店街にお金を落とす仕組みを作ればよい。
- ・簡易宿泊所で火災事故もあり、マイナスイメージがあるが、イメージを-から+に転換できるとどれだけすごい効果があるかわからない。日進町のイメージを変えたい。



【出席者】(敬称略)

専門家	嶋田 洋平	(株)リノベリング代表取締役
通年委員	石井 秀和	(株)南荘石井事務所代表取締役
	田村 寛之	川崎経済新聞編集長
	的場 敏行	(株)NENGO 代表取締役社長
テーマ委員	嶋田 憲嗣	ジェクト(株)不動産部仲介営業課課長
	武井 雅子	(株)ヨネヤマ監査役
	松田 志暢	(株)エヌアセットワクワク広報室

問合せ：川崎リノベーションまちづくり実行委員会

(川崎市まちづくり局総務部企画課)

電話：044-200-2716

FAX：044-200-3967

メール 50kikaku@city.kawasaki.jp